

報告書

国外機関

- 1) Jalaluddin B Dahalan, Zainul Rashid B Shamsdin, Nor Hafizalena Bt Osman, Suhaila Bt Abd Ghaffar, Arividya A/P Arimuthu, Roshada Bt Daud, Rafiza Bt Shaharudin, Yutaka Matsuno, Naomi Hisanaga (2003) Musculoskeletal disorders among visual display terminal users in Malaysia. NIOSH-JICA Project (Project for capacity building of NIOSH), p1-54.
- 2) Fadzil Osman, Agus Salim, Sulaiman Kaborani, Nurul Hidayah, Suhaily Amran, Norhafizalena Osman, Yutaka Matsuno, Naomi Hisanaga, Shuichiro Natsumeda (2003) Organic solvent exposure and its health effect to workers, NIOSH-JICA Project (Project for capacity building of NIOSH), p1-106.

国内・行政機関

- 1) 荒記俊一, 平田 衛, 小川康恭, 毛利一平, 柴田英治, 圓藤陽子, 河合俊夫, 竹内靖夫 (2003) 労働環境におけるシックハウス症候群の実態と労働衛生学的対策に関する研究. 平成 12~14 年度シックハウス症候群の病態解明, 診断治療法に関する研究総括分担研究報告書, p269-316, (社)北里研究所病院臨床環境医学センター.
- 2) 荒記俊一, 平田 衛, 小川康恭, 毛利一平, 柴田英治, 圓藤陽子, 河合俊夫, 竹内靖夫 (2003) 労働環境におけるシックハウス症候群の実態と労働衛生学的対策に関する研究. 平成 14 年度シックハウス症候群の病態解明, 診断治療法に関する研究総括分担研究報告書, p215-251, (社)北里研究所病院臨床環境医学センター.
- 3) 福田秀樹, 澤田晋一, 倉林るみい, 毛利一平, 岡 龍雄, 平田 衛, 岩切一幸 (2002) 労働者死傷病報告情報分析システム. 労働者死傷病報告に基づく業務上疾病の発生状況の分析 平成 13 年度報告書, p7-23, 独立行政法人産業医学総合研究所. (2002 年補填)
- 4) 福田秀樹, 澤田晋一, 久永直見, 毛利一平, 岡 龍雄 (2003) 労働者死傷病報告情報分析システム. 労働者死傷病報告に基づく業務上疾病の発生状況の分析 平成 14 年度報告書, p5-24, 独立行政法人産業医学総合研究所.
- 5) 原谷隆史 (委員、調査部会委員) (2003) 平成 14 年度事業場外資源の活用の在り方に関する検討委員会報告書, 中央労働災害防止協会.
- 6) 原谷隆史, 高橋正也, 中田光紀, 福井里江, 深澤健二, 小川康恭 (2003) 「職場における慢性頭痛の実態調査」最終報告書 (改訂版), ファイザー製薬株式会社受託研究.
- 7) 原谷隆史 (委員) (2003) 「PTSD の診断と補償に関する研究」. 平成 14 年度災害科学に関する委託研究.
- 8) 平田 衛, 埤田和史, 井奈波良一 (2003) 上肢における筋骨格系障害と末梢神経伝導速度と事象関連電位に関する研究. 上肢における筋骨格系障害の診断と防止に関する研究 平成 14 年度研究総括分担研究報告書, p11-15.
- 9) 本間健資, 宮川宗之, 王 瑞生, 須田 恵, 小林健一, 関口総一郎 (2003) 内分泌かく乱作用が疑われる化学物質の生殖系・次世代への影響評価に関する研究 (平成 13~16 年度). 平成 13 年度環境保全研究成果集 (), 環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室編.
- 10) 石川 哲, 相澤好治, 秋山一男, 荒記俊一, 他 (2003) 平成 14 年度厚生労働科学研究費補助金 (健康科学総合研究事業) シックハウス症候群の病態解明, 診断治療法に関する研究, p1-453, 社団法人北里研究所病院臨床環境医学センター.
- 11) 加藤桂一 (2003) 過酢酸に関する情報報告. 独立行政法人産業医学総合研究所.
- 12) 加藤桂一 (2003) 電磁波の健康障害予防に関する情報報告. 独立行政法人産業医学総合研究所.

- 13) 神山宣彦, 萩原正義, 鷹屋光俊 (2003) 血液中塩素化ダイオキシン類及び臭素化ダイオキシン類の高感度分析方法の開発. 臭素化ダイオキシン類に係る労働現場のリスク評価研究 平成 14 年度 総括・分担研究報告書, p57-124, 厚生労働科学研究費補助金 食品・化学物質安全総合研究事業.
- 14) 神山宣彦, 篠原也寸志 (2003) 蛇紋石リザルダイト (SUPERFIL) 中の石綿含有量の分析評価報告書, 産業医学総合研究所.
- 15) 神山宣彦, 戸谷忠雄, 高田礼子, 篠原也寸志 (2003) 蛇紋岩およびクリソタイルから得る繊維状シリカゲルおよび焼成フォーステライトの生体影響試験報告書, 産業医学総合研究所.
- 16) 神山宣彦, 芹田富美雄, 菅野誠一郎 (2003) 作業環境中有害物濃度の連続測定による二次元可視化システムの開発とその応用 報告書, 独立行政法人産業医学総合研究所.
- 17) 神山宣彦, 菅野誠一郎, 芹田富美雄, 小野真理子, 古瀬三也 (2003) 有機溶剤等を取り扱う非正常作業時の有害物質発生状況に関する調査研究 報告書, 独立行政法人産業医学総合研究所.
- 18) 倉林るみい (2003) 文献研究および企業の産業保健スタッフを対象としヒアリング調査. うつ病を中心としたところの健康障害をもつ労働者の職場復帰および職場適応支援方策に関する研究, p13-23, 厚生労働科学研究 労働安全衛生総合研究事業.
- 19) 倉林るみい (2003) 企業における危機管理としてのメンタルヘルス対策. テロ等による勤労者の PTSD 対策と海外における精神医療連携に関する研究, p39-49, 厚生労働科学研究 労働安全衛生総合研究事業.
- 20) 変異原性とがん原性の相関等に関する調査研究委員会 (後藤純雄, 鈴木勇司, 土屋敏行, 能美健彦, 福島昭治, 松島泰次郎, 宮川宗之, 山崎 洋) (2003) 平成 14 年度変異原性とがん原性の相関等に関する調査研究. 日本化学物質安全・情報センター.
- 21) 毛利一平 (2003) うつ病等のハイリスクグループとしての広汎性発達障害者等の就労支援に関する研究. うつ病を中心としたところの健康障害を持つ労働者の職場復帰および職場適応支援方策に関する研究 平成 14 年度 総括・分担研究報告書, p39-44.
- 22) 森永謙二, 審良正則, 井内康輝, 岸本卓巳, 神山宣彦, 三浦溥太郎 (2003) 石綿ばく露労働者に発生した疾病の認定基準に関する検討会報告書, p1-69, 厚生労働省労働災害補償課.
- 23) 明星敏彦, 小野真理子 (2003) たばこ煙粒子の粒径別有機物迅速分析法の開発. 平成 14 年度喫煙科学研究財団研究年報, p783-788, 喫煙科学研究財団.
- 24) 明星敏彦, 他 (2003) 平成 14 年度 統一精度管理事業報告書, 日本作業環境測定協会.
- 25) 明星敏彦, 他 (2003) 平成 14 年度 呼吸用保護具の性能の確保のための買い取り試験の実施報告書, 産業安全技術協会.
- 26) 中田光紀, 池田智子, 北條 稔 (2003) 働く人々の心と体の健康に関する調査 (平成 14~15 年度) 成果報告書, 大田地域産業保健センター.
- 27) 清掃作業従事者のダイオキシン曝露による健康影響にかかわる調査研究委員会 [小川康恭] (2003) 清掃作業従事者のダイオキシン曝露による健康影響にかかわる調査研究 (平成 14 年度) 報告書, 中央労働災害防止協会.
- 28) 大井 玄, 相澤好治, 荒記俊一, 他 (2003) 平成 14 年度本態性多種化学物質過敏状態の調査研究報告書, 日本公衆衛生協会.
- 29) 小川康恭, 毛利一平, 吉田吏江, 大場謙一, 平田 衛, 北村文彦, 齊藤宏之 (2003) 清掃工場労働者における臭素化ジフェニルエーテルの曝露状況. 臭素化ダイオキシン類に係わる労働現場のリスク評価研究 (平成 14 年度) 総括・分担研究報告書, 厚生労働科学研究費補助金 食品・化学物質安全総合研究事業, p125-137, 中央労働災害防止協会.
- 30) 三枝順三 (2003) ナノ生化学系による非細胞性代謝機能代替デバイスの開発研究: リポソーム微細構想の検討. ナノテクノロジーによる機能的・構造的な生体代替デバイスの開発 (H14-ナノ-002) 平成 14 年度総括・分担報告書, p180-186, 厚生労働省科学研究補助金 (萌芽の先端医療技術推進研究事業).

- 31) 斉藤 進, 外山みどり, 毛利一平, 岩切一幸, 城内 博, 落合孝則, 加藤公敬, 垣内良規, 堀口かおり (2003) オフィスワーカーの体と心の疲れ 「情報化職場の快適化に関わる労働衛生上の要件に関する研究」のアンケート結果報告. JFMA Current No. 79, p14-18, 社団法人 日本ファシリティマネジメント推進協会.
- 32) 斉藤 進, 城内 博, 他 (2003) 快適職場のための人間工学的手法検討委員会報告書, p1-101, 中央労働災害防止協会.
- 33) 櫻井治彦, 岩崎健二, 他 (2003) 平成 14 年度労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト作成委員会報告書, 中央労働災害防止協会.
- 34) 澤田晋一 (2003) 断続的寒冷曝露による身体冷却がもたらす生体負担の労働生理学的解析 (課題番号 11670359). 平成 11 年度 ~ 平成 14 年度科学研究費補助金 (基盤(C)(2)) 研究成果報告書, p1-130.
- 35) 澤田晋一 (2002) 異常温度条件による業務上疾病: 凍傷について. 労働者死傷病報告に基づく業務上疾病の発生状況の分析 平成 13 年度報告書, p27-29, 独立行政法人産業医学総合研究所. (2002 年補填)
- 36) 澤田晋一 (2003) 異常温度条件による業務上疾病: 熱中症について. 労働者死傷病報告に基づく業務上疾病の発生状況の分析 平成 14 年度報告書, p26-40, 独立行政法人産業医学総合研究所.
- 37) 外山みどり (2003) コンピュータと子どもの健康学校保健の動向. 平成 15 年度版, p87, 財団法人 日本学校保健会.
- 38) 高田 勲, 櫻井治彦, 相澤好治, 荒記俊一, 他 (2003) 平成 13 年度「新種化学物質に係るばく露状況に関する実態調査」報告書, p1-78, 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター.
- 39) 鷹屋光俊, 神山宣彦, 芹田富美雄, 篠原也寸志, 小野真理子, 小滝規子, 戸谷忠雄, 高田礼子 (2003) 「機能性材料由来の金属微粒子の分析法と生体影響の研究」平成 12 年度環境保全成果集 (1), 環境省総合環境政策局 (平成 15 年 3 月), p16-1-16-23.
- 40) 横山和仁, 佐藤 元, 荒記俊一 (2003) 発展途上国の環境汚染と健康影響に関する研究 - マレーシアの農薬問題を対象として -. 平成 13 年度 AGS 研究成果報告書, p181-85, 東京大学.